

【8】 AI機能

- ・定型質問について
- ・フリー質問
- ・FPアドバイス
- ・AIログの確認

AI定型質問について

The screenshot shows a web interface for an AI Q&A system. At the top, there's a header with 'AIに聞いてみる' and 'AIライフナビ'. A link 'フリー質問AIはこちら' is also present. The main area contains several input fields and buttons. Red boxes and numbers 1 through 8 highlight specific elements: 1 points to the 'AI' tab in the bottom navigation bar; 2 points to the 'カテゴリを選ぶ' dropdown menu; 3 points to the '質問を選ぶ' dropdown menu; 4 points to a multi-select input field; 5 points to the '質問を確認してAIに聞いてみるボタンを押してください' text; 6 points to the 'AIに聞いてみる' button; 7 points to the 'AIからの回答' section, which contains a table of car tax rates; 8 points to the '入力内容をリセットする' button.

② カテゴリを選ぶ
自動車

③ 質問を選ぶ
自動車税の目安を教えてください

④ 500超～1000kg以…

質問を確認してAIに聞いてみるボタンを押してください

⑤ 自動車税の目安を教えてください

⑥ AIに聞いてみる

⑧ 入力内容をリセットする

⑦ AIからの回答
※URLのサイトを表示したい場合は、URLをダブルクリックして選択しブラウザにコピーしてください。
自動車税は、車両の種類や排気量、用途に基づいて計算されます。以下は、一般的な普通自動車における自動車税の目安です。

普通自動車（排気量別）：	
- 1,000cc以下：	25,000円/年
- 1,001cc～1,500cc：	30,500円/年
- 1,501cc～2,000cc：	36,000円/年
- 2,001cc～2,500cc：	43,500円/年
- 2,501cc～3,000cc：	50,000円/年
- 3,001cc～3,500cc：	57,000円/年
- 3,501cc～4,000cc：	65,500円/年
- 4,001cc～4,500cc：	75,500円/年
- 4,501cc～6,000cc：	87,000円/年
- 6,001cc以上：	110,000円/年

①

AI質問を使うにはまず①【AI】シートを選択します。

そして質問したい内容の②カテゴリを選びます。数秒待つと質問を選ぶの内容が選択可能になるので③「質問を選ぶ」から質問したい内容を選びます。

質問文の中に追加の表記があった場合はまた数秒待ち④の中での選択肢から数値や文字を選びます。（選択が不要な場合もあります。）

⑤の質問内容が聞きたい内容であるか確認の上⑥「AIに聞いてみる」のボタンをクリックします。

「実行中です」という表記が出た後に⑦に「AIからの回答」が表示されます。

別の質問をする際に内容をリセットしたい場合は⑧「入力内容をリセットする」というボタンをクリックすると、すべての入力内容が白紙に戻ります。（リセットボタンをクリックしないでそのまま次の質問をしてしまっても問題ありません）

※こちらのAIはFPがよく受ける質問に限定し、統計局のデータや手動で集めたデータを基に回答しておりますので一般的なAIに比べて間違いが非常に起きにくい設定となっております。

ただ、AIの特性上100%正解ではないことをご了承ください。

AI機能 フリー質問

AIに聞いてみる(フリー質問)

※注意事項
質問を書き込む際は、最後にエンターキーを押して質問を確定してください。四角の中が赤色の場合は質問が確定されていません。
四角の中が赤色の場合、AIを動作する際にエラー(エラー内容：パラメーター不足)が発生することがあります。

①

AIに聞いてみる 入力内容をリセットする

AIからの回答

エラーが発生しました。
エラー内容：パラメーター不足です ②

本機能はプレミアム専用です。
ユーザー認証失敗エラーの際は、使用中のGoogleアカウントにお間違いないかご確認ください。
その他のエラーは再度お試しください。
エラーが繰り返し続く場合は、お問い合わせフォームよりお問い合わせください。

OK

AIに聞いてみる(フリー質問)

※注意事項
質問を書き込む際は、最後にエンターキーを押して質問を確定してください。四角の中が赤色の場合は質問が確定されていません。
四角の中が赤色の場合、AIを動作する際にエラー(エラー内容：パラメーター不足)が発生することがあります。

2010年に住宅を購入した場合の住宅ローン控除の条件はどんな内容でしたか

AIに聞いてみる 入力内容をリセットする

AIからの回答

2010年に住宅を購入した場合の住宅ローン控除の主な条件は以下の通りです：

1. **住宅の取得**：新築または中古住宅の取得が対象。
2. **住宅ローンの契約**：住宅ローンの契約が必要で、借入金の合計が一定額以上であること。
3. **居住要件**：取得した住宅に居住することが必要。
4. **控除期間**：住宅ローン控除の適用期間は原則10年間。
5. **所得制限**：所得税の課税所得が一定額以下であること。
6. **適用回数**：住宅ローン控除の適用は、一人につき1回まで。

具体的な条件や詳細は年度や状況によって異なる場合があるため、最新の情報は税務署や専門家に確認することをお勧めします。

定形で準備されている質問以外のことを自由にAIに質問したい場合には、【AI】シートの45行目以下にある【AIに聞いてみる（フリー質問）】を利用します。

①にAIに聞きたいことを入力し、必ずEnterキーを押して確定させてから「AIに聞いてみる」ボタンを押すと「AIからの回答」に回答が入ります。（FPに関係のない内容を質問した場合には、答えない場合があります。）

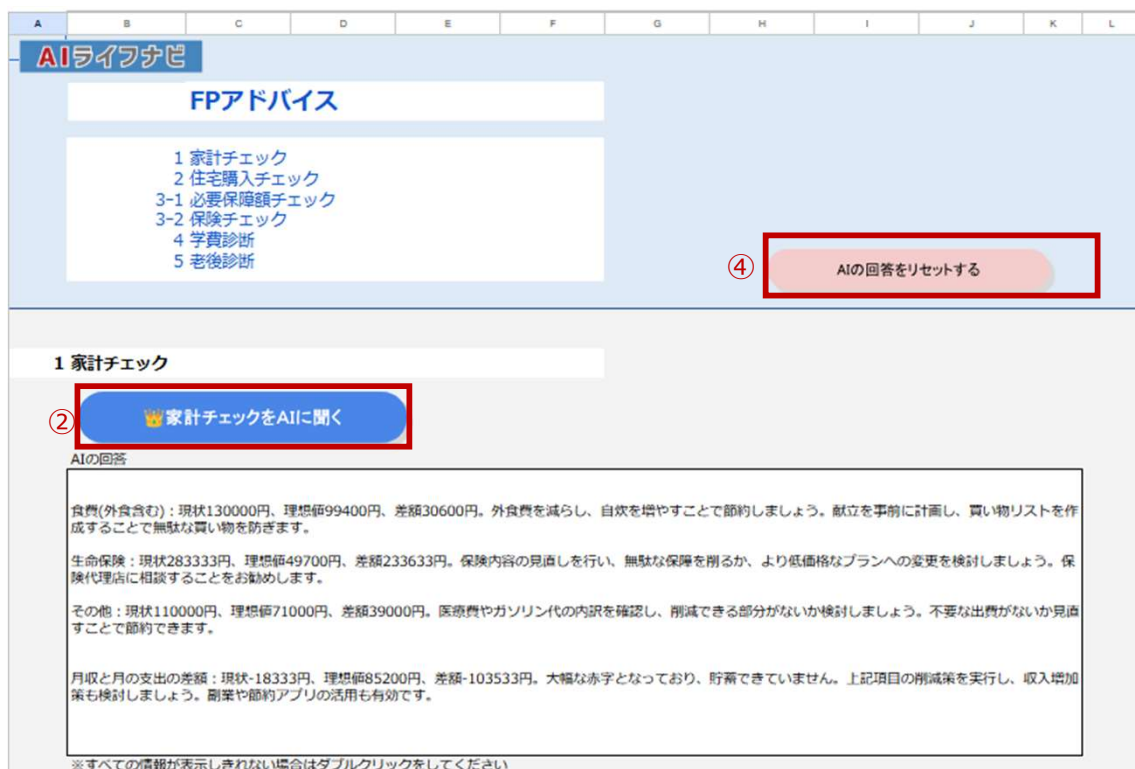
①セルが赤い色のままの場合は、質問が確定していません。質問を確定していない状態で「AIに聞いてみる」をクリックすると、②「パラメーター不足です」というエラーが発生してしまいます。このエラーが出たらEnterを押して質問を確定させてから再度「AIに聞いてみる」を実行してください。（確定させると赤いセルが白に変わります）

※こちらのAIはchatGPT4oを使用しております。
ChatGPT の回答は必ずしも正しいとは限りません。
不正確な情報を表示することがあるため、生成された回答を再確認するようにしてください。

FPアドバイス



FPからのアドバイスを使うには①【アドバイス】のシートを開きます。



画面の②青いボタン「家計チェック」「住宅ローンチェック」「必要保障額チェック」「教育費チェック」「老後チェック」を押すと数十秒の間にAIが完成したCF表をチェックしてアドバイスを生成します。

このアドバイスは過去2万件のCF表を学習したAIがまるで熟練のFPのようにアドバイスをを行います。またこのAIは常に成長をしておりますのでアドバイスの内容はその時の最新の情報や社会情勢に応じたアドバイスに更新されていきます。



最後に③回答済みのアドバイスをまとめるというオレンジのボタンを押すとアドバイスをまとめることも可能です。内容をリセットしたい場合は④AIの回答をリセットするを押すと全ての内容がリセットされます。

※AIの回答は必ずしも正しいとは限りません。お客様に提示する際には必ずご自身で確認してからご提示してください

AIログの確認

AIライフナビ

FPアドバイス

1 家計チェック

2 住宅購入チェック

3-1 必要保障額チェック

3-2 保険チェック

4 学費診断

5 老後診断

AIの回答をリセットする

1 家計チェック

🏠 家計チェックをAIに聞く

AIの回答

食費(外食含む)：現状130000円、理想価99400円、差額30600円。外食費を減らし、自炊を増やすことで節約しましょう。献立を事前に計画し、買い物リストを作成することで無駄な買い物を防ぎます。

生命保険：現状283333円、理想価49700円、差額233633円。保険内容の見直しを行い、無駄な保障を削るか、より低価格なプランへの変更を検討しましょう。保険代理店に相談することをお勧めします。

その他：現状110000円、理想価71000円、差額39000円。医療費やガソリン代の内訳を確認し、削減できる部分がないか検討しましょう。不要な出費がないか見直すことで節約できます。

月収と月の支出の差額：現状-18333円、理想価85200円、差額-103533円。大幅な赤字となっており、貯蓄できていません。上記項目の削減策を実行し、収入増加策も検討しましょう。副業や節約アプリの活用も有効です。

※すべての情報が表示しきれない場合はダブルクリックをしてください

【AI】や【アドバイス】のシートでAIの回答があった場合、別の質問や前提を変更してチェックをした場合に、前の回答が消えてしまいます。この状態で先に回答をもらったものの回答が何だったかわからなくなってしまうため、ログを確認できるシートを準備しています。

収支 ▼ 住宅購入後収支 ▼ アドバイス ▼ グラフ ▼ ワー ▼ 配偶者ワー ▼ 教育費 ▼ AI質問ログ ▼ アドバイス質問ログ ▼

それぞれのシートを開くと、「質問日時」や「質問内容」「AIの回答」等が一覧になって表示されているので、過去にこのスプレットシートでAIに確認した内容はすべてここで確認することが出来ます。

	A	B	C	D
1	質問日時	質問項目	質問内容	AIの回答
2	2024/11/01 13:40:46	基本情報	妻様が通勤、郵便の場合、収入のピークは何歳でいくらかいになっているか	家賃が通勤費、郵便費の場合、収入のピークは50〜54歳で、年収は約537.6万円です。 提供された情報には地方公務員の通勤や郵便に関する具体的なデータが含まれていません。そのため、年収のピークや月収についての正確な回答をすることはできません。一般的に、地方公務員の給与は職階や学歴、年齢によって異なるため、具体的な情報が必要です。可能であれば、通勤や郵便に関する詳細なデータを提供していただければ、より正確な回答ができるかと思います。
3	2024/11/01 13:42:12	基本情報	地方公務員で通勤、郵便の場合、年収のピークは何歳でいくらかいの月収と年収になるのか	地方公務員の通勤、郵便に関する具体的なデータは提供されていません。正確な月収や年収のピークをお答えすることはできません。ただし、一般的には公務員の年収ピークは60歳前後であることが多く、その間の月収は高年や大卒によって異なるため、関連する職階や学歴に基づいて推測する必要があります。具体的な数値については、関連する職階のデータを参考にするをお勧めします。
4	2024/11/01 13:42:32	基本情報	地方公務員で通勤、郵便の場合、年収のピークは何歳でいくらかいの月収と年収になるのか	地方公務員全職階の場合、年収のピークは60〜63歳で、月収は472,432円です。年収に換算すると、約5,688,000円になります。
5	2024/11/01 13:42:48	基本情報	地方公務員で全職階の場合、年収のピークは何歳でいくらかいの月収と年収になるのか	過去20年間の日本株の平均利回り計算のために、2003年から2022年までの各年の利回りを合計し、それを20で割ります。 計算式: $\frac{1}{20} \left[\frac{1}{24.5} + 7.6 + 40.2 + 6.9 - 11.1 - 42.1 + 19.0 - 3.0 - 17.3 + 22.9 + 56.7 + 7.1 + 9.1 + 0.4 + 19.1 - 12.1 + 18.2 + 16.0 + 4.9 - 9.4 \right] [20]$ 結果: $\frac{1}{20} (157.6) [20] = 7.88\%$ したがって、過去20年間の日本株の平均利回りは約7.88%です。 積立運用のシミュレーションを行う際には、いくつかの要素を考慮する必要があります。まず、毎月の積立額は10万円で、運用期間は2022年1月から2024年12月までの23年間です。この期間における投資の成長率や市場の動向も重要です。 仮に年平均利回りを5%とした場合、積立額と運用期間から計算すると、未来の資産額は以下ようになります。 積立額: 10万円 - 積立期間: 23年 (276ヶ月) - 年平均利回り: 5% この条件で計算を行うと、最終的な資産額は約4,200万円程度になる可能性があります。ただし、実際の市場の動きや利回りは変動するため、結果は異なる場合があります。具体的なシミュレーションには、過去のデータや市場の動向を考慮することをお勧めします。
6	2024/11/01 13:54:32	基本情報	日本株の過去20年間の平均利回りは (計算式と結果)	
7	2024/11/01 13:56:25	基本情報	世界株の商品を2002年1月から2024年12月までの毎月10万円、積立運用をしていたら、およそいくらかいになるのか	